

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部 港湾課
評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名称	別府港北浜ヨットハーバー	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	大分県別府市北浜1丁目818-386		
	設置目的	海洋性レクリエーションの振興及び、別府港内の不法係留船を適正係留させるため		
指定管理者	名称	株式会社ササキコーポレーション		
	代表者名	佐々木 勝吉		
	所在地	山口県宇部市港町1丁目13-5		
指定管理業務の内容	①北浜ヨットハーバーの維持管理及び修繕に関すること。 ②北浜ヨットハーバーの使用許可(工作物の設置を伴うものを除く)に関すること。 ③北浜ヨットハーバーの利用促進に関すること。 ④上記に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める業務			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年間)			

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1	施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み
	(1)施設の設置目的の達成
	①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。
	②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。
	③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。
	④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。
	【所見】
	○ 係船率については、平成28年度が69%に対して平成29年度は73%と、前年を上回った。目標値は60%であり、達成率122%となっていることから、指定管理者による営業・広報活動による成果が出ている。
	○ 専用利用については平成28年度は15,186隻に対して平成29年度は16,117隻と、累計で931隻増加しており、指定管理者による営業・広報活動による成果が出ている。
	○ 7月に2回、8月に3回、初心者向けの講習会である九州UMIアカデミーを開催し、当日は15組37名の参加者があり、平成28年度と比較して参加者が増加しており、施設の設置目的である海洋性レクリエーションの振興に努めている。
	○ 海洋雑誌KAZIIに働きかけを行い、取材を受けることで広報活動に努めている。(雑誌掲載は2018年5月号)
	○ 国土交通省が行っている政策である「海の駅」への登録を、指定管理者から働きかけ、海の駅のHPに北浜ヨットハーバーが掲載された。それにより「海から、誰でも、いつでも、気軽に、安心して立ち寄り、利用でき、憩える」施設として広く全国へ周知されており、効果的な広報活動で係船率の向上に貢献している。
	(2)利用者の満足度
	①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。

<p>②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。</p> <p>③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p> <p>④利用者への情報提供が十分になされたか。</p> <p>⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>
<p>【所見】</p> <p>○ 苦情に対して適切に対応しており、対応状況を県へ迅速に報告を行っている。</p> <p>○ 毎年2月に実施している利用者満足度調査では、        スタッフの対応…良い21人 概ね良い4人 普通1人 やや悪い0人 悪い0人        施設について…良い11人 概ね良い7人 普通4人 やや悪い1人 悪い1人        という結果となった。        スタッフの対応については、「良い」または「概ね良い」という回答をした利用者の合計が25人であり、9割以上を占めていることから好評価を受けていると言える。        施設については「良い」または「概ね良い」と回答した利用者が18人いる一方で「悪い」、「やや悪い」が2人いる。「悪い」、「やや悪い」の人数は平成28年度の調査から減少しており、その理由としては、ネコの糞尿対策やゴミの処分方法など、施設に対する要望に対して適切に対応したことが評価されたものと思われる。</p>
<p>2 効率性の向上等に関する取組み</p>
<p>(1)経費の低減等</p>
<p>①施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p> <p>③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p>
<p>【所見】</p> <p>○ 最小限のスタッフで施設の管理運営が効率的、かつ適切に行われており、保守点検についても指定管理導入以前は外部委託していたが、指定管理導入後は他のマリーナ施設の管理を行っているノウハウを活かし、指定管理者のスタッフ自らが見回って委託料を節約するなど、経費削減に努めている。</p> <p>○ 指定管理導入以前は上架施設のフォークリフトを扱えるものがいなかったため外部に委託していたが、指定管理者にはフォークリフト運転技能講習修了証という資格を持っているスタッフがあり、リフトを扱うことができるため、委託料の分の経費を削減できている。</p>
<p>(2)収入の増加</p>
<p>①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>
<p>【所見】</p> <p>○ 使用料収入について、平成28年度が14,627千円であるのに対して平成29年度が15,539千円であり、912千円増加した。自主事業や他のマリーナ施設での広報活動の効果があったと思われる。</p>
<p>3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み</p>
<p>(1)施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況</p>
<p>①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。</p> <p>②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。</p> <p>③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</p>
<p>【所見】</p> <p>○ 館長、ハーバーマスター、主任、スタッフの4人で業務を行い、常に職員を施設に配置している。</p> <p>○ 防災士の資格を持っている者がいなかったため、新たに取得させるなど、スタッフの能力向上に努めた。</p> <p>○ 大分県プレジャーボートの係留保管の適正化に関する条例案検討会の委員に就任するなど、施設の設置目的である不法係留船の適正係留のため、県の施策に対して積極的な協力をしている。</p>

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。
⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。
⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。
<b>【所見】</b> <input type="radio"/> 浮棧橋の使用許可において、許可書を発行していない事例や、申請書に必要な書類の添付を求めている事例があった。(改善済み。) <input type="radio"/> 管理人が常駐しており、安全確保に努めている。(管理人が不在となる夜間は警備会社に委託しており、夜間巡視も実施している。) <input type="radio"/> 平成29年度に防災士の資格を取得し、避難経路図の作成、避難訓練の実施など、防災への意識を高めている。 <input type="radio"/> 毎月ヒヤリハットを実施し、スタッフが気づいた問題点をミーティングで全職員に共有し、対応している。(内容は県に報告。) 

## 【総合評価】

<b>【所見】</b> 九州UMIカデミーの開催や海の駅登録など、積極的に広報活動を行うことで、前年度と比べ、利用隻数は931隻増加し、係船率は69%から73%に増加して目標値を大幅に上回っている。  職員の能力向上のため、防災士資格の講座に参加したり、避難経路図を作成してスタッフ全員で避難訓練を行ったりするなど、防災に係る体制の整備に努めた。  浮棧橋の使用許可において、条例・規則に基づく許可書の発行ができていない事例や、申請書に必要な書類が添付されていない事例があるなど、関係法令の遵守の面で課題があった。  <b>【今後の対応】</b> 指定管理者において、関係法令を遵守するよう、定期的に行われるミーティングの際にスタッフに周知し、県においても、年2回行う実地調査を4回に増やすなど、適正な管理が行われているか監視する体制を整える。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【指定管理者評価部会の意見】

<b>【評価】</b> 1 昨年度指摘した事項(安全管理研修や防災訓練)も改善し、係船率もさらに向上させるなど良好な管理運営がなされており、高く評価できる。  <b>【意見】</b> 1 アンケート調査について専用利用者のみでなく、ビジター利用者からも意見をもらうべきではないか。  <b>【施設所管課に対する意見】</b> 1 観光地にあるヨットハーバーとしてビジター利用をより多く取り込むために専用利用者とビジター利用者の適正な割合について指定管理者と調整するとともに、場合によっては施設の拡張も検討してはどうか。 2 船を乗せる台のキャスター部分が頻繁に破損するなど修繕費が指定管理者の負担となっているため維持管理費が掛からない物に変更するなど設備更新を検討する必要がある。 3 夜間のトイレ利用について、検討できないか。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------